

Saitoh I: Adipose Tissue as a Useful Material for the Grafting of Tumorigenic Cells and Juvenile Tissues in Mice. OBM Transplantation 05: 1-1, 2021.

- 7) Nakamura Y, Hanasaki M, Sano T, Hayasaki H, Iwase Y, Saitoh I: Oral function and feeding management in a child with alpha thalassemia X-linked intellectual disability syndrome. J Dent Child (Chic) 88(3): 206-209, 2021.
- 8) Sasakawa Y, Nakamura Y, Saitoh I, Nakajima T, Tsukuno S, Hozawa M, Sotome T, Nogami Y, Kurosawa M, Iwase Y, Hayashi T, Hayasaki H: Lip-closing pressure during food intake from a spoon in normal children. J Oral Rehabil 48(6): 711-779, 2021.
- 9) 近藤亜子, 岡野哲, 津金裕子, 飯沼光生, 犬塚勝昭, 土岐志麻, 石通宏行, 岡 暁子, 倉重圭史, 桑原康生, 佐野正之, 鈴木淳司, 田中晃伸, 仲野和彦, 中村由紀, 早崎治明, 星野倫範, 齊藤正人, 木本茂成, 牧 憲司: 幼児期における舌小帯異常の実態調査. 小児歯科学会雑誌 59(3) : 107-116, 2021.
- 10) 船山ひろみ, 齊藤桂子, 森川和政, 朝田芳信, 早崎治明, 大島邦子ほか: 歯科医師国家試験出題基準に対する日本小児歯科学会としての考え方, 小児歯誌 59(2) : 80-94, 2021.

【研究費獲得】

- 1) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血流調節による歯髄静的幹細胞賦活化の試み. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 20K10224, 2020-2022.
- 2) 中村由紀, 早崎治明, 堀 一浩, 林 豊彦: 捕食およびフードプロセスの特徴解析から小児の食物窒息リスクを検証する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 19K10402, 2021.
- 3) 早崎治明, 中村由紀: 小児の摂食行動は歯の萌出時期に影響を与える. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 19K10379, 2021.
- 4) 松原まなみ, 中村由紀, 早崎治明: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 21K109013, 2021.
- 5) 中島 努: 食具を使用した捕食動作における口腔機能の発達過程を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手 研究, 21K17156, 2021.
- 6) 笹川祐輝: 口唇機能の発達評価に基づく食事支援方法の確立にむけて. 公益財団法人富徳会研究者助成金, 2021.

【学会発表】

- 1) 朴沢美生, 中村由紀, 中島 努, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 五月女哲也, 岩瀬陽子, 齊藤一誠, 早崎治明:

口唇閉鎖を伴う3種被験運動における複合センサーを用いた口腔機能評価. 第59回日本小児歯科学会大会, Web配信, 2021年6月6-20日, 小児歯科学雑誌 59(大会抄録号) : 72頁, 2021.

- 2) 佐野拓人, 大島邦子, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: 髄床底部への意図的穿孔形成がマウス臼歯再植後の歯髄治癒過程に及ぼす影響. 第63回歯科基礎医学会学術大会, web開催, 2021年10月9-11日, J. Oral Biosci. Suppl : 314頁, 2021.
- 3) 花崎美華, 中村由紀, 中島 努, 早崎治明: 乳歯の形成不全を伴うGoltz症候群の1例. 第39回日本小児歯科学会北日本地方会, Web開催, 2021年10月10-16日, 小児歯科学雑誌 60(地方会抄録号) : 12頁, 2022.

生体歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Tabassian LJ, Nagasawa M, Ba AK, Akiba N, Akiba Y, Uoshima K, Ohyama H. Comparing dental student preclinical self-assessment in the United States and Japan. Journal of dental education Jan;86(1):21-28, 2022.
- 2) Kimura T, Aoyagi Y, Taka N, Kanatani M, Uoshima K: Metallization by Sputtering to Improve the Bond Strength between Zirconia Ceramics and Resin Cements. Journal of Functional Biomaterials, 12(4):62, 2022.
- 3) Uoshima K, Akiba N, Nagasawa M. Technical skill training and assessment in dental education. Jpn Dent Sci Rev. Nov;57:160-163, 2021.
- 4) Takaoka Y, Akiba Y, Nagasawa M, Ito A, Masui Y, Akiba N, Eguchi K, Miyazawa H, Tabeta K, Uoshima K: The relationship between dental metal allergy, periodontitis, and palmoplantar pustulosis: An observational study. Journal of prosthodontic research 2021.
- 5) Kawamura A, Akiba Y, Nagasawa M, Takashima M, Arai Y, Uoshima K: Bone heating and implant removal using a high-frequency electrosurgical device: An in vivo experimental study. Clinical oral implants research 32(8):989-997, 2021.
- 6) Arai Y, Inanobe-Takatsuka M, Takashima M, Ogawa S, Kawamura A, Nohno K, Uoshima K: Reducing bacterial counts around the abutment following professional mechanical plaque removal at the implant bridge: A randomized crossover comparison of removing or not removing the superstructure. J Prosthodont Res. 24;65(1):91-96, 2021.

- 7) Mizukoshi M, Kaku M, Thant L, Kitami K, Arai M, Saito I, Uoshima K: In vivo cell proliferation analysis and cell-tracing reveal the global cellular dynamics of periodontal ligament cells under mechanical-loading. *Sci Rep.* 11(1):9813, 2021.
- 8) Govitvattana N, Kaku M, Ohyama Y, Jaha H, Lin IP, Mochida H, Pavasant P, Mochida Y: Molecular Cloning of Mouse Homologue of Enamel Protein C4orf26 and Its Phosphorylation by FAM20C. *Calcif Tissue Int.* 109(4):445-454, 2021.

【商業誌】

- 1) 魚島勝美, 長澤麻沙子, 秋葉陽介: 人工骨の研究と開発と臨床応用. 季刊 歯科医療 35(4):18-22, 2021.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美, 加来賢, 秋葉陽介, 長澤麻沙子: 骨の骨細胞ネットワーク再構築と骨質に着目した自家骨移植の至適条件探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 20H03876A, 2021.
- 2) 魚島勝美, 秋葉奈美, 長澤麻沙子: パーチャルリアリティを活用した歯科技能教育の完全デジタル化. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 18K18633, 2021.
- 3) 加来賢, 魚島勝美, 北見公平, 柿原嘉人, 松本雅記: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03127, 2021.
- 4) 加来賢, 奥田修二郎: 細胞追跡法と遺伝子ネットワーク解析による幹細胞の分化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19895, 2021.
- 5) 秋葉陽介: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09976, 2021.
- 6) 秋葉奈美: 生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10051, 2021.
- 7) 青柳裕仁, 金谷, 貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09975, 2021.
- 8) 長澤麻沙子, 魚島勝美: 歯根膜の完全な再生を目指した意図的再移植法の新規開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10032,

2021.

- 9) 長澤麻沙子: 科学的根拠に基づいたアバットメント締付けトルク値の検索. 日本口腔インプラント学会令和3年度口腔インプラント研究助成金, 2021.
- 10) JM Rosales Marcelo, 加来賢, 魚島勝美: Transomics analysis of the difference between Cortical and Trabecular bone. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09998, 2021.
- 11) 江口香里: 免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18627, 2021.
- 12) 浜谷桂佑: 表面での歯根膜再生を可能とする歯根破折歯修復用接着材料の新規適用法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21006, 2021.
- 13) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17061, 2021.
- 14) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーによる乾癬症状増悪・継続機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 20K23050, 2021.
- 15) 工藤莉奈: 移植環境制御と細胞移植による予知性の高い骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21007, 2021.
- 16) 三谷咲貴: 次世代主要切削器具としてのジルコニアドリルの臨床的優位性を多面的に検討する. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18557, 2021.
- 17) 泉健次, 芳賀永, 石原誠一郎, 加来賢, 佐藤大祐, 鈴木絢子: 足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03870, 2021.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Uoshima K: Prosthodontic Significance of Dental Implant Treatments. The 26th WCOI Japan Annual Scientific Conference and the 1st Japan-India Collaboration conference, Virtual, March 27, 2022.
- 2) Uoshima K: Is a dental implant better than a natural tooth or a removal partial denture?. 11th conference on dental science and education, Virtual, Hanoi, Viet Nam, November 26, 2021, Abstract & Program book Page 7, 2021.
- 3) Nagasawa M: Renovated active learning program for fixed partial denture course in Niigata University. Virtual, Hanoi, Viet Nam, November 25, 2021, Abstract & Program book Page 5, 2021.

- 4) 加来賢, 魚島勝美: メカニカルストレスの制御を基盤とした歯科補綴治療戦略 先端テクノロジーが拓く2040年の補綴治療 ～バックキャスト思考によるイノベーション戦略～. 第24回日本歯科医学会学術大会, 横浜, 2021年9月24日, 同学術大会プログラム抄録集, 2021.
- 5) 加来賢: 間葉系幹細胞による歯根膜維持メカニズムの解明と展望 ～間葉系幹細胞の研究から考える生物科学としての補綴歯科治療～. 第130回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2021年6月20日, 同学術大会プログラム抄録集: 102頁, 2021.
- 6) 高岡由梨那, 秋葉陽介: 歯科金属アレルギー患者への対応～検査, 診断, 治療方針と他科連携～. 第130回日本補綴歯科学会学術大会 イブニングセッション, Web開催, 2021年6月20日, 2021.
- 7) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: 歯根膜の組織修復過程における Wnt/ β -catenin シグナルの解析. 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会. 新潟, 2021年11月7日, 同学術大会プログラム抄録集: 10頁, 2021.
- 8) 土橋梓, 加来賢, Juan Marcelo Rosales Rocabado, 小野喜樹, 魚島勝美: 力学的刺激に対する歯根膜の耐性獲得に関わる分子ネットワークの解析. 令和3年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2021年11月7日, 同学術大会プログラム抄録集: 10頁, 2021.

【学会発表】

- 1) Tabassian L, Kormmehl D, Agrawal R, Harris J, Nagasawa M, Chutinan S, Hiroe Ohyama H. Self-assessment in Dentistry: Hand Skills, Gender, Technology and Culture. 2022 ADEA Annual Session & Exhibition, Philadelphia, US. Mar 19-22, 2022.
- 2) 江口香里, 秋葉陽介, グエン=ヴァン=クアン, 工藤莉奈, 高岡由梨那, 魚島勝美: 予知性の高い骨増生法の開発を目的とした抗酸化物質エダラボンによる移植細胞の生存率向上と機能温存. 第37回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い(令和3年度), Web開催, 2022年2月15日, 2022.
- 3) 山本悠, 長澤麻沙子, 浜谷桂佑, ZHANG TONGTONG, 魚島勝美: アバットメントスクリー縮付けトルクおよび動的荷重がインプラント周囲骨に及ぼす影響. 第51回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, オンデマンドWEB開催, 2021年12月17日-26日, 同学術大会プログラム・抄録集:176頁, 2021.
- 4) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: 創傷治癒に伴うセメント質添加過程における β -catenin 発現細胞の局在. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会, 広島, 2021年12月17-26日, 同学術大会プログラム抄録集:188頁, 2021.
- 5) 秋葉陽介, 江口香里, 高岡由梨那, 秋葉奈美, 長澤麻沙子, 水野潤, 魚島勝美: 規格化ナノ構造チタンにおける骨髄由来細胞の増殖と動態. 第51回日本口腔インプラント学会学術大会 優秀研究発表, Web開催, 2021年12月18日, 2021.
- 6) 秋葉奈美, 秋葉陽介, 小野和宏, 長澤麻沙子, 藤井規孝, 魚島勝美: 卒前の総合模型実習と診療参加型臨床実習が臨床研修開始時の歯科臨床能力に及ぼす効果. 第40回日本歯科医学教育学会学術大会, Web開催, 2021年11月20日-12月3日, 同学術集会一般演題プログラム・抄録集:8頁, 2021.
- 9) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Kohei Kitami, Katsumi Uoshima, Isao Saito: Altered proteomic composition and collagen fiber organization in the periodontal ligament under orthodontic force. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 233頁, 2021.
- 10) 新井萌生, 北見公平, 加来賢, 水越優, 魚島勝美, 齋藤功: 矯正歯の移動時の歯根膜における SPARC の局在について. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 148頁, 2021.
- 11) 岩間基, 北見公平, 加来賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 魚島勝美, 齋藤功: 加齢により有細胞セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 147頁, 2021.
- 12) 水越優, 加来賢, 北見公平, 新井萌生, 岩間基, 魚島勝美, 齋藤功: マウス臼歯歯根膜における Label Retaining Cell の局在と特性. 第80回日本矯正歯科学会学術大会, 横浜, 2021年11月3-5日, 同学術大会プログラム抄録集: 151頁, 2021.
- 13) 三井田慶斗, 高昇将, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷頁: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイスガード材料の機械的強さについて. 第78回秋季学術講演会, 日本歯科理工学会, 岡山, Web開催, 同学術集会プログラム・抄録集:63頁, 2021年10月17日, 2021.
- 14) 青木直美, 青柳裕仁, 木村龍弥, 魚島勝美: 小臼歯部 CAD/CAM 冠支台歯の咬合面隅角部形態における測定精度の違いが適合精度に及ぼす影響. 第24回日本歯科医学会学術大会, Web開催, 2021年9月23-25日, 2021.

- 15) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Megumi Kitami, Kohei Kitami, Daiki Kobayashi, Yutaka Yoshida, Katsumi Uoshima, Isao Saito, Makio Saeki: Proteomic analysis of periodontal ligament extracellular matrix under mechanical stress. 第 53 回日本結合組織学会学術大会, 東京, 2021 年 6 月 26-27 日, 同学術大会プログラム抄録集, 2021.

【受賞】

- 1) 長澤麻沙子: Comparing Dental Student Self-Assessment in the US and Japan. 第 13 回日本歯科医学教育学会 国際学会研究発表奨励賞, 2021 年 7 月 4 日.

顎顔面口腔外科学分野

【著書】

- 1) 鶴巻浩, 隅田賢正: デンタルダイヤモンド 2021 年 8 月号, 臨床アドバンス ワンランク上を目指す, Dd 診断力ですと, 硬性の開口障害, 25 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2021

【論文】

- 1) Kato H, Sugimoto M, Enomoto A, Kaneko M, Hara Y, Saito N, Shiomi A, Ohnuki H, Izumi K: Metabolomic Alteration of Oral Keratinocytes and Fibroblasts in Hypoxia. *J. Clin. Med*, 10(6): 1156, 2021.
- 2) Yoshida K, Kodama Y, Nishikawa A, Estacio Salazar AR, Toyama A, Takagi R. Comparison between the prophylactic effects of amoxicillin 24 and 48 hours pre-operatively on surgical site infections in Japanese patients with impacted mandibular third molars: A prospective cohort study. *J Infect Chemother*, 27(6): 845-851, 2021. doi: 10.1016/j.jiac.2021.01.018.
- 3) Kato J, Mikoya T, Ito Y, Sato Y, Uematsu S, Kodama Y, Susami T, Yamanishi T, Takagi R, Tei K: Dental Arch Relationship Outcomes Following Two-Stage Palatoplasty for Japanese Patients with Complete Unilateral Cleft Lip and Palate: A Three-Center Study. *Cleft Palate Craniofac J*, 2021. doi: 10.1177/10556656211010606.
- 4) Kiguchi T, Kakihara Y, Yamazaki M, Katsura K, Izumi K, Tanuma J, Saku T, Takagi R, Saeki M: Identification and characterization of R2TP in the development of oral squamous cell carcinoma. *BBRC* 548: 161-166, 2021. doi: org/10.1016/j.bbrc.2021.02.074
- 5) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Yamazaki M,

Kurokawa A, Katagiri W, Takagi R, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders in the oral cavity: a clinicopathologic study of 4 cases and literature review. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, S2212-4403(21)00464-8, 2021. doi: 10.1016/j.o000.2021.05.015.

- 6) Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Andrea RE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga M, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R: Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study. *Oral sci int*. 2021. doi: <https://doi.org/10.1002/osi2.1122>
- 7) Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H.: Variations in the venous supply of the floor of the oral cavity: Assessment of relative hemorrhage risk during surgery. *Clin Anat*, 34(7):1087-1094, 2021.
- 8) Yamada E, Takagi R, Moro H, Sudo K, Kato S: Saliva is a suitable alternative to plasma for evaluating pharmacologically active dolutegravir concentration. *PLoS One*. 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0246994
- 9) Yoshida K, Kodama T, Tanaka Y, Pak K, Soga M, Toyama A, Katsura K, Takagi R. Pharmacist involved education program in a multidisciplinary team for oral mucositis: Its impact in head-and-neck cancer patients. *PLOS ONE*, 16(11), 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0260026
- 10) Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Sumita Y, Katsumi Y, Nikkuni Y, Hayashi T, Tanuma J: Spindle cell squamous cell carcinoma exhibiting prominent neutrophil phagocytosis: a case report. *Journal of Medical Case Reports*, 15. 2021. doi: 10.1186/s13256-021-03066-z
- 11) Isshiki-Murakami M, Tachinami H, Tomihara K, Noguchi A, Sekido K, Imaue S, Fujiwara K, Imura J, Noguchi M. Central mucoepidermoid carcinoma of the maxilla developing from a calcifying odontogenic cyst: A rare case report. *Clin Case Rep*. 28; 9(10), 2021. doi: 10.1002/ccr3.4928
- 12) Sekido K, Imaue S, Tomihara K, Tachinami H, Yamagishi K, Okazawa S, Ikeda A, Fujiwara K, Noguchi M. Durable complete response to immunotherapy with anti-PD-1 antibody nivolumab in a patient with oral squamous cell carcinoma presenting with lung metastasis: A case report. *Clin Case Rep*. 30;9(9), 2021. doi: 10.1002/ccr3.4545
- 13) Fujiwara K, Saitou S, Nagaoka R, Nakamichi